

## 腰椎手術を受けられた方へ

大阪市立大学大学院医学研究科  
整形外科

### 【研究課題名】

腰椎手術の臨床成績および後期高齢者のQOLに及ぼす効果

### 【研究期間】

参加者集積期間（診療録）：2001年4月1日～ 2014年12月31日

倫理委員会承認後 ～ 2019年 3月 31日

### 【研究の意義・目的】

高齢社会の加速に伴い腰部脊柱管狭窄症を有する患者が増加していき、手術加療を要する患者も増加していくと予想される。本研究の目的は、腰部脊柱管狭窄症に対する腰椎除圧術後の椎間関節温存率と骨新生を計測し、臨床成績との関連性を評価することである。また、後期高齢者（75歳以上）に対する腰椎手術の臨床成績およびQOLを評価することである。

### 【研究の方法】

当科にて腰部脊柱管狭窄に対して腰椎除圧術（顕微鏡または内視鏡下椎弓切除）、もしくは腰椎後方固定術を施行し術後2年以降の画像評価が可能であった患者を対象とする。項目は性別、年齢、罹病期間、手術時間、出血量、手術椎間数を評価し臨床項目としてJOAスコア（日本整形外科学会腰椎機能評価）、腰痛、下肢痛、下肢しびれ、SF36を評価し画像項目は手術前後のレントゲン、CT、MRIを評価する。

### 【研究組織】

研究代表者

堂園 将

### 【本研究に関する問い合わせ先】

研究責任者 堂園将

住所 545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3 整形外科教室

電話 06-6645-3851

FAX 06-6646-6260

E-mail s.dohzono@med.osaka-cu.ac.jp